

自転車保険の加入啓発は

Q 運転免許証自主返納に際し、自動車保険を解約した後、自転車保険に加入し忘れている方もいるのではないかと。

A 高齢者の運転免許証自主返納に対する奨励金の周知とともに、自転車保険の加入も啓発していく。

住宅耐震診断の現況は

Q 昭和56年5月31日以前の本造住宅が診断の対象である。地震対策のためにも対象住宅の総戸数の把握は。

A 木造建築の総戸数については把握していない。今後、各グループと連携して調査確認に努める。

戸籍などの本人通知制度は

Q 行政書士による他人の戸籍抄本などの不正取得が報道されているが、本町住民への請求の有無は。

A そのような事実は確認されていない。制度登録者は724名で、そのうち本人に通知したのは48件である。

はりまここのとりタクシーは

Q 出産時のタクシー助成利用者が4人と少ない。必要とする全ての人々が利用しているのか。また、制度の改善は。

A 周知も徹底しているため、必要な人全てが利用していると考え。改善についても現在は考えていない。

まちづくりアドバイザーは

Q 多様化する地域の課題や住民ニーズに対応するため配置された「まちづくりアドバイザー」の自治会への対応は。

A アンケートにより地域の課題を抽出し、自治会有志と共に「自治会運営の手引き」の作成などを行った。

期日前投票所の充実は

Q 県知事選挙で「きつすなホール」が期日前投票所に加えられた。期間や時間が限られていたが延長する考えは。

A 期日前投票が全投票の34.9%に達したことから、利用状況などを検証し、今後検討していきたい。



▲高齢者の交通安全教室



▲学校図書の実況



▲女性のための働き方セミナー



▲新たな期日前投票所（土山駅南きつすなホール）

税など収納率の向上は

Q 町民税などの収納率を向上するために、どのような取り組みをおこなっているのか。

A 未納者への文書催告、月1回休日に納税相談を行うなど、収納率を上げるよう取り組んでいる。

大気汚染の成分分析は

Q 民間の降下ばいじんの検査では、事業所などで発生した鉄や炭素などが含まれている。大気汚染測定での分析は。

A 浮遊粉じんの分析では、マンガン、鉛、亜鉛、鉄などが検出されているが、環境基準に照らし合わせて問題ない。

小中学校図書の選定は

Q 図書室の本には色々な種類があるが、折り紙などの物づくりの本もバランスよく選定しているのか。

A 小中学校とも物づくりの本はある。特に小学校において工作や実験などの本の選定に力を入れている。

女性の社会参加講座は

Q 男女共同参画社会推進として開催した講演会などの内容は。また女性に限らず社会参加を支援する取り組みは。

A 女性の保護者を対象に就労セミナーなどを開催した。講演会などの予定は積極的に周知する。

障がい者グループホームは

Q 障がい者の方が地域で安心して住み続けられるように、新設された障がい者グループホームの概要は。

A 町内にグループホームを開業している事業所がアパートと平屋を改修した。10部屋あり4名入居されている。

介護認定までの救済は

Q 介護認定まで約1カ月かかるが、新規申請の場合その間も状態が悪化する恐れがある。認定決定前の救済措置は。

A 個々の状況により訪問調査を早めるなど対応している。また、認定前でも暫定でのサービス利用が可能である。